

平成 26 年 12 月 17 日 (水) 午前 8 時 44 分～ 8 時 49 分



今日は薩摩川内市五代町ある株式会社植村組で「MBC ラジオ ポニー号」が「モーニングスマイル」の中継を行いました。

ポニーメイツの神崎さんが、危機管理対策室課長の市園 誠さんにお話を伺いました。

～株式会社植村組の安全管理取組状況～

株式会社植村組は土木・建築・港湾工事業を行っております。橋梁関係の取組みで、昭和 3 年に県内初めてのコンクリートの橋を造り、このときは本当にコンクリートが固まるか気をもんだそうです。社員数は社長以下 198 名、業務車両・重機・船舶が 120 台、通勤車両が 200 台、協力業者 150 台ほどです。

交通事故防止対策としては、車止めの徹底と前向き駐車を平成 15 年から取り組んでいます。当時は

- オートマではなく、マニュアルが多かったため
- サイドブレーキの利きが甘い
- ニュートラルのまま駐車していて、車が暴走
- 前向き駐車をすることによって緊急時にいろいろな対応ができる

等から車止めの徹底と前向き駐車をするようになりました。

歯止め・車止めと略しまして、「はめたか車止め！止めたかエンジン！目と指さしで確認！」のポスター、シールや「安全運転」と書かれた旗を自社で作成し、現場等へ配付・掲示をしています。

年末年始の取組みとして、「3（サン）ライト運動」については、早めの点灯運動、早めに自分の存在に気づいてもらう活動を朝礼時・社内報「竹ん子」等で呼びかけています。

また、植村組は薩摩川内だけではなく、県内一円に現場があり、多くの協力業者の方にも携わっていただいているので、各現場でも同じような指示をし、

相手の立場に立って、高齢者に対する思いやり運転と見守り運転を心がけるように指導しております。特に、見守り運転では、どのような動作・行動をするのか予知・予測を行い、素早く対応できるような見守り運転を心がけています。

交通労働災害防止活動としては、職場単位での交通安全管理体制を確立して、特に業務上の交通災害防止に努めており、重点事項として安全運転5則

- ① 法定・指定最高速度の遵守
- ② 全席シートベルト及びヘルメット着用の遵守
- ③ 無信号交差点などで止まって確認の厳守
- ④ 早めの点灯、早めの合図の厳守
- ⑤ 老人・子供・自転車・二輪車等を見かけたら減速遵守

などを行っています。

また、朝礼時に前日の天気をそれぞれが見たり、天気が悪い場合は早めに行動する、無理な運転操作をしないように呼びかけています。

